



ぽっかぽか



お箸検定 全員合格！

6月17日から始まったお箸検定。開始直後からものすごいやる気と意欲で検定を受けまくる子どもたち。7月末までの1か月半でクラス全員が合格するという驚異的なスピードに担任もビックリ！！

子どもたちの「受かりたい！」という熱量もそうですが、ご家庭での支援も多かったと思います。ありがとうございました。

合格後は、お箸を使える嬉しさで笑顔いっぱい、給食を食べ進めています。中には「カレーもはしてたべたい！」という子がいたほど。自信がついた証拠ですね。また、食べるときの姿勢も格段によくなりやマナーを守る意識も高まりました。

お箸検定を経てたくさんの成長がみられ、より楽しい給食の時間になっています♪

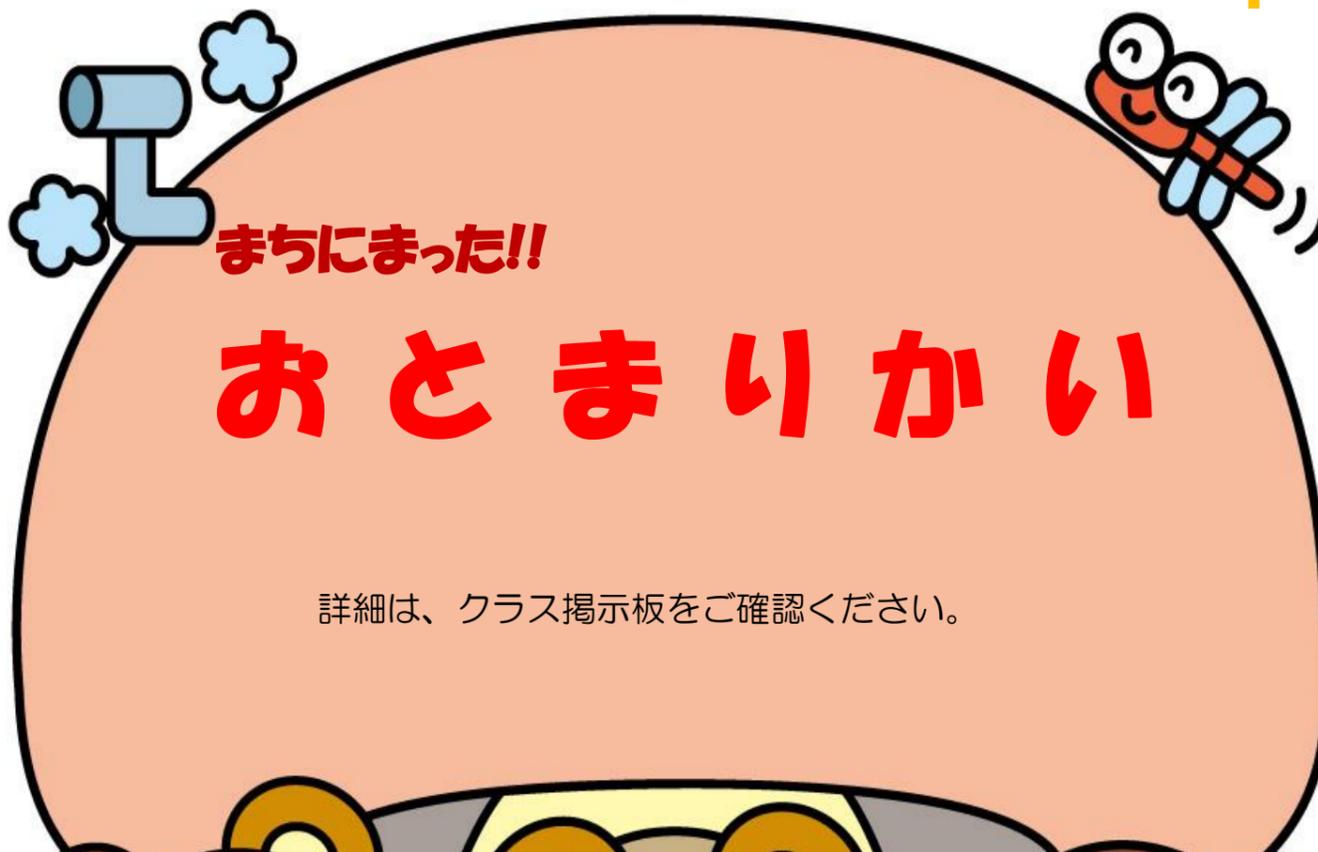


今年は、なにかと「記録的な」という言葉のつくことが多い夏でしたね。

酷暑や大雨、台風などを乗り越え、まもなく始まるお泊り会！！

お父さんお母さんと離れることが初めてで心配という声もありますが、お箸検定やプールでの蹴伸び・潜水、縄跳びなどたくさんの新しいことにチャレンジし、成功体験を増やしてきたらいおん組の子どもたちならきっと思い出に残る楽しい行事となるはずですよ。

お見送りの際は、どうぞ笑顔で送り出してあげてください。そして帰ってきたときには、たくさん抱きしめてあげてくださいね。



詳細は、クラス掲示板をご確認ください。

楽しかったフール！



いこう！わくわくのその先へ

運動会の練習も始まりました！



★年長児の活動としてお箸検定や縄跳びは、「自分なりの目標を決め、それを達成する」という経験ができる活動のひとつです。僕は目標を立てるために、知る⇒やる⇒分かる、のステップがあると思っています。大切なことは、話を聴く（やり方を知る）、選択する（挑戦心を持つ）、認められる（伝えられる）こと。保育園では、すべてにおいて、子どもたちが「楽しそう」「楽しい」と思って始められるよう声掛けや環境を工夫しています。自分がわかると、自分が乗り越えられる目標を決め、その目標に向かって突き進みます。途中で上手いかずその場から離れたり、人と比べて自信をなくすこともあります。しばらく待っているとまた、自分から挑戦する姿も多いです。この「勇気」は、とてもすごいことです。きっと自分の存在が認められる『根源的自信』を持っているからでしょう。それは、ご家庭で「あなたがいてくれて嬉しい」と伝えているからだだと思います。これからも色々なことに挑戦を続けていく子ども達です。ぜひ「結果」だけでなく「経過」をいっぱい褒めてあげてください♡